

# 2022年度 新潟県基金事業 在宅医療（栄養）推進事業 実施報告

- 1) 事業内容
- 2) 支部別事業報告・契約による訪問栄養指導
- 3) モデル訪問栄養指導
- 4) 在宅栄養ケア研修会
- 5) 管理栄養士人材育成研修会
- 6) 支部検討会・研修会
- 7) 栄養ケアステーション事業（登録状況）
- 8) 評価委員会 評価内容

## 1) 事業内容 ※赤字は支部実施事業

④事業計画項目		
(I) 在宅療養者の栄養ケア推進事業		計画
①	支部長・在宅事業担当者代表会議	2回
②	支部・地域ケア関連団体協力要請	10支部×1~3回
③	支部・事業推進会議	10支部×2回
④	モデル・訪問栄養食事指導実施 A：県歯科医師会連携 B：新潟リハビリ病院連携 C：訪問看護・介護専門員 連携指導 (通所改善サービス事業も含む)	訪問100回
⑤	栄養ケア推進委（CS体制検討会）	27回
⑥	評価委員会	2回
(II) 拠点整備		
	本部・上越支部・十日町支部・その他	上越1回/週
	県栄養ケア・ステーション会員登録作業	
(III) 地域栄養ケア・訪問栄養指導に係る研修事業		
①	在宅栄養ケア総合研修会（Web）	1回
②	人材育成研修会（Web）	5回シリーズ
③	他職種連携講座・地域栄養ケア活動	15回
④	訪問栄養指導症例検討会（zoom）	2回
⑤	福祉施設の栄養ケア業務の推進	20回
⑥	支部検討会・研修会	45回

## 2) 支部別事業報告契約による訪問栄養指導

### 1 令和4年度 支部事業

区分	No	事業名	計画	実績											新潟市本部	備考
				計	村上	新発田	三条	長岡	柏崎	魚沼	十日町	上越	佐渡			
Ⅰ 推進事業	①	支部担当者会議	各支部2回 (20回)	35	2	2	4	3	2	2	2	4	2	12		
	②	ケア団体協力要請	各支部1～3回	10		3		1	2	2	1			1		
	③	モデル訪問指導 (訪問)	回	36		3	11	5						17		
Ⅱ 拠点整備	②	本部・支部												6		
Ⅲ 研修事業	③	地域ケア活動	15回	11				1	1				1	9		
	⑥	支部事業集会・研修会	45回	17		2			4	1	1		1	8		

### 上越支部 活動

栄養ケアステーションからこんにちは！  
**にこにご通信** Vol.18  
発行/2022年11月 発行所/公益社団法人新潟県栄養士会 栄養ケアステーション 上越支部

地域包括ケアシステムの一助として管理栄養士を活用してください

私たち管理栄養士は、医療関係者・介護保険事業者・地域行政関係者の皆様方と協働し、フレイルへの介入や訪問栄養指導を通じて地域の健康づくりに貢献します。

お近くにこんな方がいたらご紹介ください

正しい食生活は、心と体の健康を支えます。是非、管理栄養士をご活用ください。  
 ★お問い合わせは、下記へ連絡をお願いします。

【新潟県栄養士会 上越支部 支部長/署名】  
 住所: 妙高市緑町2丁目8-11(2) 上越  
 電話: 0255-78-7700  
 <お問い合わせ先>  
 上越地域在宅医療推進センター内  
 TEL: 0255-520-7500 / FAX: 0255-520-8686  
※営業時間: 毎週水曜日 9:30-12:00 担当: 管理栄養士が対応しております。

### 2 契約栄養指導

契約による指導区分	実績											新潟市	備考
	計	村上	新発田	三条	長岡	柏崎	魚沼	十日町	上越	佐渡			
雇用契約書・連携手順作成地区 (R5年1月現在)			○		○	○	○	○	○			○	
労務契約内容	在宅訪問指導指導料金		4,500		4,000	4,500	4,500	4,500	4,500			4,500	
	交通費		(込み)		1,000	(込み)	(込み)	(込み)	(込み)			(込み)	
	外来指導指導料金		6,500 半日		5,500 /半日	6,500 半日		6,500 /半日					
	交通費		(込み)		1,000	(込み)		(込み)					
地域医療連携システム連携								米ネット	がんぎネット				

様式①

在宅訪問栄養ケア申込書 兼 栄養食事指導指示書 (FAX可)

依頼先: 上越栄養ケアステーション 行  
 Tel: 025-520-7500  
 Fax: 025-520-8686

紹介元医療機関: 令和 年 月 日  
 医療機関名: \_\_\_\_\_  
 主治医名: \_\_\_\_\_  
 所在地: \_\_\_\_\_  
 Tel./Fax: \_\_\_\_\_

フリガナ  
 対象者氏名 \_\_\_\_\_ 性別 (男/女) \_\_\_\_\_ 生年月日: T / S \_\_\_\_\_ 年齢: \_\_\_\_\_  
 〒 \_\_\_\_\_ 番 ( ) \_\_\_\_\_ 不在時連絡先: \_\_\_\_\_

通 応 保 険  医療保険  介護保険 (介護申請されている方は、介護保険優先です。)

訪問栄養指導が必要な理由 \_\_\_\_\_

<治療状況と、栄養指導指示内容>

栄養指導対象の疾患名  糖尿病 (インスリン・経口薬・投薬なし)  脂質異常症  高血圧症  高尿酸血症  慢性腎臓病  
 低栄養  摂食・嚥下障害 その他 ( ) \_\_\_\_\_

栄養量の指示  病態に対し適正な栄養量を管理栄養士が算出すること。  エネルギー \_\_\_\_\_ kcal  
 たんぱく質 \_\_\_\_\_ g  脂質 \_\_\_\_\_ g  
 塩分 \_\_\_\_\_ g  水分 \_\_\_\_\_ ml

依頼事項  食事アセスメント  ヘルパーと協働で指導  生活習慣の見直し  
 食事指導 (治療食)  調理指導  その他 ( ) \_\_\_\_\_

特記事項 (栄養士での目録など) \_\_\_\_\_  
 検査データを、別紙に添付します。

2) 契約による訪問栄養指導

訪問指導 雇用契約を交わした（保険利用）医療機関及び訪問患者数 （R5.3月末現在）

	上越支部				十日町支部				魚沼支部			
	新規契約 医療機関	延べ 契約数 (件)	患者実数 (人)	延べ 指導回数 (回)	新規契約 医療機関数 (件)	延べ 契約数 (件)	患者実数 (人)	延べ 指導回数 (回)	新規契約 医療機関数 (件)	延べ 契約数 (件)	患者実数 (人)	延べ 指導回数 (回)
H28年度	4	4	7	18	1	1	7	22				
H29年度	1	5	4	8	0	1	6	43				
H30年度	2	7	4	12	2	3	19	91	0	0	0	0
R1年度	5	12	6	26	0	3	15	70	0	0	0	0
R2年度	3	15	4	16	0	3	0	0	0	0	0	0
R3年度	0	15	2	6	0	3	4	20	0	0	0	0
R4年度	0	15	5	13	1	4	9	39	1	9	9	34

○通所栄養改善サービス事業 （R5,1月末現在）

令和2年3月～ 事業所 1か所と契約 ・サービス対象者：要支援 1名・要介護 1名

### 3) モデル訪問栄養指導

## 2022年度モデル訪問栄養指導事業

- ・期間2022年8月～2023年3月末まで
- ・訪問回数 基本3回
- ・依頼連携

#### A 新潟県歯科医師会連携

県央地区（三条・燕・加茂・見附）

他地区（新潟市・佐渡市・他）

対象者 訪問歯科医が栄養士介入が必要と判断した療養者

#### B 新潟リハビリテーション病院連携

対象者

主治医、担当訪問リハの所属は新潟リハ病院

訪問リハ及び担当ケアマネが在宅訪問栄養指導が必要判断した療養者

#### C 県栄CS依頼 訪問栄養指導

対象者

県栄養士会栄養CSに直接訪問指導依頼

訪看 ケアマネ 訪問リハ等からの依頼

R4年度 モデル訪問栄養指導 2023年3月31日現在

A: 県歯科医師会連携 8件 B: 新潟リハ病院連携 1件 C: 訪看・ケアマネ連携 11件 延べ訪問指導回数 62回

番号	指導区分	患者番号	性別	年齢	住所	紹介理由	紹介者・依頼主	医科主治医	担当ケアマネ	担当栄養士所属支部	訪問日回数
1	A	三条1	女性	64歳	燕市	多系統萎縮症による摂食障害 自宅での嚥下調整食の指導と低栄養予防の指導	歯科医院 燕市弥彦在宅歯科連携	クリニック	居宅介護支援 介護事業所	三条	4回
2	A	三条3	女性	82歳	三条市	重症筋無力症 食形態コードのレシビと食事の充足状況の確認	歯科クリニック 三条歯科医療連携	病院	居宅介護支援 介護事業所	魚沼	2回
3	A	三条4	男性	68歳	三条市	嚥下状態にあった食形態の調理方法を知らない	歯科クリニック 三条歯科医療連携	クリニック	居宅介護支援 介護事業所	三条	4回
4	A	長岡1	男性	72歳	見附市	胃瘻から経口摂取移行する為カロリー計算他栄養指導希望	歯科医院 見附市在宅歯科連携室	病院	居宅介護支援 介護事業所	魚沼	5回
5	A	長岡2	男性	87歳	長岡市	食事摂取量減少、食事に時間がかかる。補助栄養食品利用食事指導希望	歯科医院 長岡在宅歯科連携室	クリニック	居宅介護支援 介護事業所	長岡	3回
6	A	長岡3	女性	91歳	長岡市	姿勢保持困難・嚥下・咀嚼力低下 具体的な食事の提案	歯科医院 長岡在宅歯科連携室	診療所	居宅介護支援 介護事業所	長岡	2回
7	A	長岡4	男性	84歳	長岡市	呼吸が浅く唾液誤嚥によるムセがあり食事の工夫が必要	歯科医院 長岡在宅歯科連携室	診療所	病院 居宅介護支援事業所	長岡	2回
8	A	長岡5	女性	85歳	長岡市	舌頭萎縮あり 対栄養嗜好の偏りがあり栄養バランスの問題もあり	歯科医院 長岡在宅歯科連携室	クリニック	病院 居宅介護支援事業所	長岡	2回
9	B	新潟5	女性	76歳	新潟市東区	脳梗塞発症後遺症で失語症。夫への調理指導	担当訪問リハ 担当ケアマネ	新潟リハビリ病院	居宅介護支援 介護事業所	新潟市	2回
10	C	新潟1	男性	71歳	新潟市中央区	癌治療後の食欲低下	訪問リハ PT	クリニック	居宅介護支援 介護事業所	新潟市	2回
11	C	新潟2	女性	82歳	新潟市西区	新潟市フレイル事業からの 訪問指導継続	担当ケアマネ	クリニック	居宅介護支援 介護事業所	新潟市	3回
12	C	新潟3	女性	5歳	新潟市西蒲区	体重増加少ない、滑らか食の作り方について家族指導	訪看護ステーション	病院	相談支援センター	新潟市	6回
13	C	新潟4	男性	82歳	新潟市東区	新潟市フレイル事業からの 訪問指導継続視覚障害者 塩分制限 カロリー制限の周知	担当ケアマネ	クリニック	居宅介護支援 介護事業所	新潟市	3回
14	C	新潟6	女性	90歳		腎症の食事について自宅での調理指導	訪看ステーション	病院	10/17 中止決定		
15	C	新潟7	女性	87歳	新潟市中央区	味覚障害あり、嚥下機能評価からの食べやすい食事と体重管理	担当ケアマネ 歯科クリニック	クリニック	居宅介護支援 介護事業所	新潟市	4回
16	C	新潟8	女性	84歳	新潟市江南区	腎機能低下の為食事指導を受けたが実際の食事について疑問点が多く困っている	担当ケアマネ	クリニック	居宅介護支援 介護事業所	新潟市	3回
17	C	新潟9	女性	87歳	新潟市西区	夫・息子が介護 ヘルパーのサービスが入っている。食事の説明希望	担当ケアマネ	クリニック	居宅介護支援 介護事業所	新潟市	4回
18	C	三条2	女性	85歳	三条市	消化器術後体重減少フレイル状態	地域包括支援センター	クリニック	地域包括支援センター	三条	4回
19	C	三条5	女性	66歳	三条市	糖尿病診断 体重増加 開業医で専門的な食事指導受けられない為訪問栄養指導の希望	居宅介護支援 介護事業所 ケアマネ	クリニック	居宅介護支援 介護事業所	魚沼	3回
20	C	新発田1	男性	72歳	新発田市	血糖コントロール目的食事指導介入	担当 ケアマネ	クリニック	居宅介護支援 介護事業所	新潟市	4回

## 4) 在宅栄養ケア研修会

2022年度 在宅医療（栄養）推進事業（新潟県補助事業）

**在宅栄養ケア研修会 講演（Web 配信）**

参加費 **無料**

配信期間 **2022.12.1（木）～12.8（木）**

～ 地域で安心して暮らしていくための 食・栄養からのアプローチ ～

**講演『金沢栄養ケアセンターの取り組み』**

講師 **櫻井千佳先生**



2006年金沢大学付属病院 栄養管理部栄養管理室長  
金沢大学薬学類・創薬産学類非常勤講師  
2012年渡米、シカゴにて料理教室や離乳食講座等を実施  
帰国後、フリーランスとして開業  
2014年～食事の教室でんの主幹  
2017年～NPO法人がんとむきあう会副理事長  
2019年10月開設の金沢栄養ケアセンターでは、開設準備段より活動  
金沢学院短期大学食物栄養学科、石川県歯科医師会立歯科医療専門学校、金沢医科大学看護学部 で非常勤講師

新潟県栄養士会では、地域で栄養ケアに対応できる人材の育成を進めています。  
今回は、石川県栄養士会が運営する、いしかわ栄養ケア・ステーションのサテライト施設として、金沢市と金沢市医師会の協力により、金沢健康福祉財団内で開設された、金沢栄養ケアセンターにおいて、在宅療養者への栄養支援、クリニックや病院への栄養支援を実践されている講師より、医師会及び多職種との連携による在宅訪問栄養指導の実践や地域に向けた幅広い活動についての講演をいただきます。  
豊富な知識、経験をご紹介いただき、管理栄養士の地域における栄養ケア活動の実際を学んでいただくための研修会となっております。

受講申し込み：事前申し込みは不要です。 ※受講方法は裏面をご覧ください。

視聴期間：2022年12月1日(木)12:00～12月8日(木)12:00 web 配信

参加費：無料

公益社団法人 新潟県栄養士会 栄養ケア・ステーション 担当 久志田・山川  
〒951-8052 新潟市中央区下大川前通4ノ町 2230 番地エスカーイア大川前プラザ108号  
TEL 025-224-7501 FAX 025-224-0510  
Email:n.eiyou-cs@forest.ocn.ne.jp

### 2022年度 在宅栄養ケア研修会アンケート集計（配信期間：2022.12.1～8）

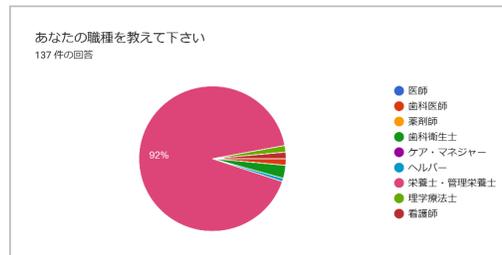
#### 1. 受講申し込みフォーム

入力人数 延べ137人

#### 職種を教えてください。

1.医師	0
2.歯科医師	2
3.薬剤師	0
4.歯科衛生士	4
5.ケア・マネジャー	0
6.ヘルパー	1
7.栄養士・管理栄養士	126
8.その他	4
合計	137

その他：看護師2、理学療法士2

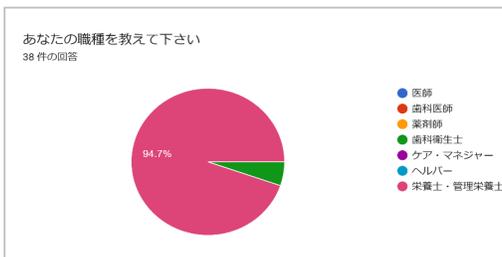


#### 2. 受講後アンケート

アンケート提出人数 38人

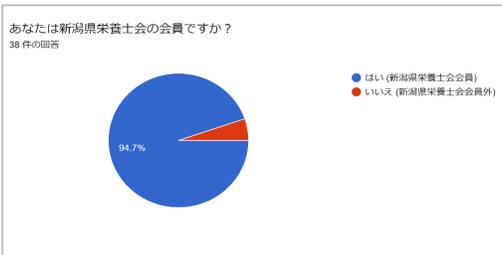
##### ①あなたの職種は？

1.医師	0
2.歯科医師	0
3.薬剤師	0
4.歯科衛生士	2
5.ケア・マネジャー	0
6.ヘルパー	0
7.栄養士・管理栄養士	36
8.その他	0
合計	38



##### ②栄養士会会員ですか。

1.はい	36
2.いいえ	2
合計	38



##### ③研修内容の感想

1.大変参考になった	24
2.参考になった	14
3.よくわからなかった	0
4.その他	0
合計	38



#### ④講演内容の感想(要約)

- ・多職種との連携での活動が大切だと痛感した。(9人)
- ・金沢栄養ケアセンターはすごいと思った。(6人)
- ・石川県の栄養ケアは非常に進んでいて、仕組み作りもとてもよくできている。(3人)
- ・明確なビジョンを持ち計画的に進めていると感じた。(2人)
- ・新潟県でも参考にできそうな事から実施できたらと思った。(4人)
- ・新潟県と比較しあまりの違いに驚いた。医師会との連携、他職種とのつながり方、会員との目的意識の共有など一つ一つをお教えたいただきたいと思った。
- ・新潟県はかなり広い地域であり、一体化するには課題が山積している。
- ・新潟でも始めるのであれば、きちんとした人員確保が必須と感じた。副業では中途半端になる。
- ・在宅療養には栄養ケアステーションの活動が必要。(3人)
- ・在宅栄養ケアの取り組み実践について学ぶことができた。(4人)
- ・最後に、食べることの大切さの話をされていたことが、とても印象的だった。(2人)
- ・先生の患者さんに寄り添う気持ち、熱意が伝わってきた。(3人)
- ・多職種との合同研修会や検討の場など、継続的且つ頻回に行うことが重要だと感じた。(2人)
- ・食料構成表が印象に残った。幅広い活動をされている先生の講演は大変参考になった。
- ・管理栄養士がどこにいて相談できるのかを明確にするため、場を設置することが重要だ。
- ・少しでも地域に目を向けていければいいと感じた。(2人)
- ・管理栄養士としての使命とさらなる研鑽の必要性を感じた。
- ・在宅栄養指導は、管理栄養士から積極的にアクションをする重要性がよく理解できた。
- ・医師会との連携がやはりキーポイントになるという事を実感した。

## 5) 管理栄養士人材育成研修会

### 2022年度『管理栄養士人材育成研修会』

○研修方法 : Web研修 (YouTube) 配信期間各回1週間

○研修内容 : 5回シリーズ 各回60分

1回目 6月30日(木) 12:00～ 7月6日(水)

「栄養指導報告書の記入について」

講師:新潟県立大学 村山稔子管理栄養士

受講者:61名

2回目 8月4日(木) 12:00～ 8月10日(水)

「摂食・嚥下ケアが必要な療養者の対応について(講演)」

講師:日本歯科大学新潟病院 近藤さつき管理栄養士

受講者:54名

3回目 9月1日(木) 12:00～ 9月7日(水)

「摂食・嚥下ケアが必要な療養者の対応について(演習)」

講師:日本歯科大学新潟病院 近藤さつき管理栄養士

受講者:64名

4回目 9月29日(木) 12:00～ 10月5日(水)

「福祉施設における介護報酬改定の取り組みについて」

講師:福祉事業部

① 特別養護老人ホーム いなほ園 松浦祐美子管理栄養士

② 特別養護老人ホーム 黒崎の里 鬼立絵梨子管理栄養士

③ 特別養護老人ホーム プナの里 横山奈津代管理栄養士

受講者:62名

5回目 10月27日(木) 12:00～ 11月2日(水)

「在宅リハと栄養ケアについて、リハ職の地域活動について」

講師:新潟県理学療法士会 押木内科神経内科医院 大野智也理学療法士

受講者:57名

人材育成研修会	第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	
配信期間(2022年)	6.30～7.6	8.4～8.10	9.1～9.7	9.29～10.5	10.27～11.2	
テーマ	「栄養指導報告書の記載について」	「摂食・嚥下ケアが必要な療養者の対応について(講演)」	「摂食・嚥下ケアが必要な療養者の対応について(演習)」	福祉施設における介護報酬改定の取り組みについて	在宅リハとケアについて、リハ職の地域活動について	
講師	新潟県立大学 村山稔子管理栄養士	日本歯科大学新潟病院 近藤さつき管理栄養士	日本歯科大学新潟病院 近藤さつき管理栄養士	特別養護老人ホーム ①いなほ園(上越) 松浦祐美子管理栄養士 ②黒崎の里(新潟市) 鬼立絵梨子管理栄養士 ③プナの里(妙高) 横山奈津代管理栄養士	新潟県理学療法士会 押木内科神経内科医院 大野智也理学療法士	
受講申し込み者数	112名	112名	115名	115名	116名	
受講回数	延べ134回	延べ199回	延べ140回	延べ148回	延べ145回	
アンケート回答数	61名	54名	64名	62名	57名	
所属職域 ※1257名						
1.学校健康教育	199名	2	1	2	2	
2.公衆衛生	126名	3	2	2	4	
3.研究・教育	62名	0	1	1	0	
4.勤労者支援	18名	1	1	0	0	
5.地域活動	156名	16	15	18	16	
6.医療	377名	14	14	17	16	
7.福祉	319名	25	20	24	24	
8.会員外		0	0	0	0	
合計		61	54	64	62	
研修内容について						
1.大変参考になった		38	36	44	37	31
2.参考になった		23	16	20	25	26
3.よくわからなかった		0	2	0	0	0
合計		61	54	64	62	657

6) 支部検討会・研修会

食形態一覧 【基金事業により作成した支部地域】 アンケート結果

支部	作成時期	記載施設			窓口	①施設栄養管理		②入退院時指導		③入退院時情報提供書		④入退院調整施設間情		⑤在宅サービス食支援		⑥家族へ情報提供		⑦在宅療養者食支援		⑧その他	⑨保健所栄養士との連携について	⑩今後		
		計	病院	施設		現在	今後	現在	今後	現在	今後	現在	今後	現在	今後	現在	今後	現在	今後					
村上	2020年3月	10	7	3	支部長	○		○		○		○		○				○			支部役員会に同席	・保健所主催研修会参加（非会員にも構築）		
新発田	2020年2月	22	8	14	支部長	○	○		○	○	○	○		○	○	○	○		○		無	・保健所連携で非会員施設も取り込み		
三条	2022年3月	53	12	41	支部長/保健所	○			○	○		○	○		○						必要時のみ	・未定		
魚沼	2020年10月	30	11	19	魚沼基幹HP							○	○								無	・活用の事例報告などの研修		
魚沼(南)					魚沼基幹HP	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			一覧表のPR活用状況の共有等	・定期的な見直しや更新（来年度以降）
魚沼(十日町)					支部長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○				無
上越	2020年10月	94	14	80	支部長	○	○	○	○	○	○									○	検討会参加依頼	・R5.1に協議予定		
柏崎	2023年3月	7	3	4	支部長																無			

## 7) 栄養ケアステーション事業（登録事業）

(公社)新潟県栄養士会栄養ケア・ステーションに  
**登録をお願いします。**

～栄養ケア・ステーションの活動には**毎年の登録が必要です。**～

### 〈登録方法〉

新潟県栄養士会HPトップページ

「お知らせ」>「ケア・ステーション」>「**2023年度ケア・ステーション登録ページ**」

↓  
「(公社)新潟県栄養士会 栄養ケア・ステーション 2023年度活動登録フォーム」に  
必要事項を入力

登録ページへは、  
このQRコードからも入れます



### 〈栄養ケア・ステーションの主な活動（業務）内容〉

- 講師
  - ・セミナー・研修会・栄養イベント講師
  - ・料理教室の企画運営
- 指導
  - ・診療報酬・介護報酬にかかる栄養指導、栄養管理業務
  - ・健診後の栄養・食事指導、特定保健指導
- その他
  - ・栄養成分表示や栄養価計算
  - ・献立考案
  - ・メディア(TV・ラジオ)対応
- 相談
  - ・健康増進・フレイル予防等
  - ・栄養・食事に係る相談
  - ・スポーツ栄養関連指導・相談・講演
- 自治体・地域包括関連
  - ・地域ケア会議参加
  - ・共食の場への参画

### 〈栄養ケア・ステーション登録について〉

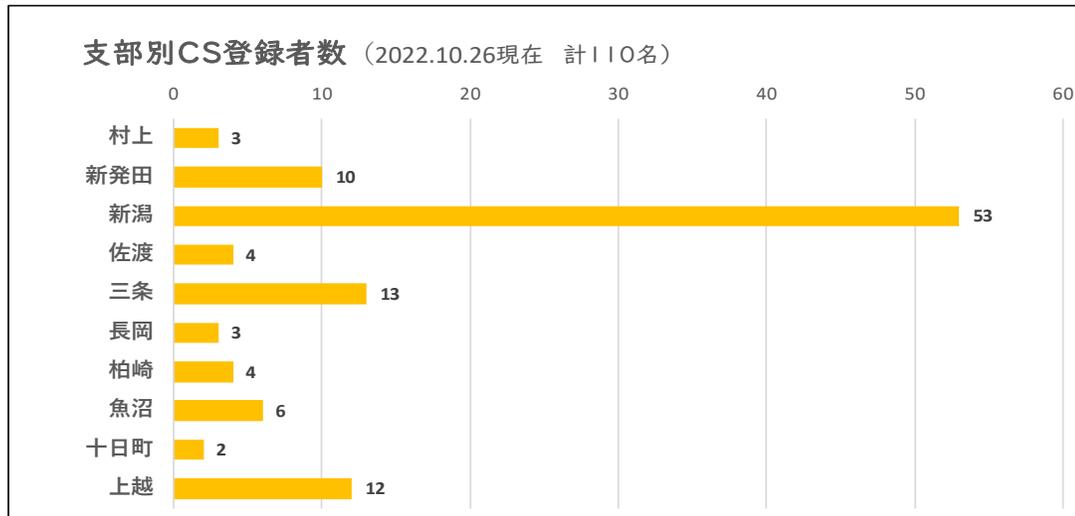
- 登録者には、業務依頼情報、研修情報、医療介護報酬情報等を適切に提供いたします。
- 登録による強制的な業務依頼は行いません。
- 現在は活動ができない会員も登録は可能です。
- ※今すぐには活動ができない方、迷っている方等、今後の活動に向けてスキルアップしましょう！

- ・栄養ケア・ステーションは、地域の栄養ケア活動を支援します。
- ・栄養ケア・ステーション登録により様々な情報をお受け取りください。

〈お問い合わせ先〉 新潟県栄養士会 栄養ケア・ステーション担当：久志田  
mail : n.eiyou-cs@forest.ocn.ne.jp  
電話/FAX : 025-224-7501/025-224-0510

2023年度版

## 4) 登録状況 (R4.10.26)



## 5) 希望 業務

支部	登録者数	10-1) 県民の栄養及び食に関する支援					10-2) 在宅医療・介護								10-3) その他		
		特定保健指導	スポーツ栄養	料理教室、栄養教室、イベントの企画・運営	講演会講師	その他	A.診療報酬・介護報酬にかかる栄養食事指導とこれに関連する業務	B.上記以外の病院・診療所などの医療機関や行政と連携した栄養食事指導	C.訪問栄養食事指導(新潟市内フレイル在宅訪問栄養食事指導)	D.地域包括ケアシステムにかかる事業関連業務(地域ケア会議参加など)	E.福祉施設(通所、グループホーム等)との契約による栄養サービス事業	F.医療介護関連の料理教室、栄養教室等企画・運営	G.医療・介護関連の講演会講師	その他	A.食品・栄養成分表示に関する業務	B.健康・栄養関連の情報、専門的所見に基づく献立等の提供	その他
村上	3	1	0	1	0	0	2	2	1	2	1	2	1	0	0	0	0
新発田	10	3	1	3	2	0	2	3	3	6	1	2	1	0	3	2	0
新潟市	53	24	14	22	15	7	20	28	25	15	9	12	10	1	19	23	1
三条	13	7	1	7	3	1	5	9	3	4	3	6	0	0	7	9	0
長岡	3	0	1	1	1	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0
魚沼	6	3	1	1	1	1	4	3	2	4	3	2	2	1	1	1	1
十日町	2	0	0	1	1	0	0	1	1	2	0	0	0	0	0	0	0
柏崎	4	2	0	4	3	0	3	3	1	3	2	3	2	0	1	4	0
上越	12	0	0	0	0	0	0	1	1	7	0	0	1	0	0	0	0
佐渡	4	0	0	2	1	0	1	1	0	3	1	1	1	0	0	0	0
計	110	40	18	40	26	9	37	50	37	43	20	27	17	2	31	39	2

## 7) 栄養ケアステーション事業

### 認定栄養ケア・ステーション しなの薬局

認定機関  
2021年9月1日～2024年8月31日

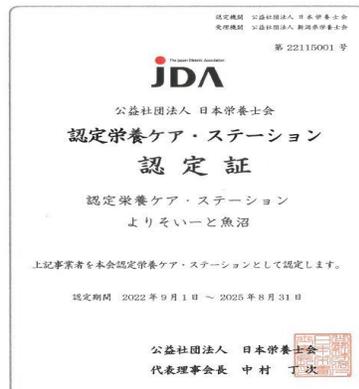
### 認定ケアステーション しなの薬局



### 認定栄養ケア・ステーション よりそいーと魚沼

認定機関  
2022年9月1日～2025年8月31日

### 認定ケアステーション よりそいーと 魚沼



## 8) 評価委員 評価内容

### 第2回評価委員会 評価項目：検討課題/今後の改善点・必要内容

評価委員：医師会・歯科医師会・学識経験者・薬剤師会・看護協会・介護専門員・栄養士会

#### I-1 拠点整備

- ・ 栄養CS本部と支部との密接な連携を図り、サポート体制や戦略的な取り組み実施が大きな課題になると思う。
- ・ 効果的情報発信,容易なアクセス環境整備,登録体制整備、登録者の希望業務の効果的なマッチングの充実を期待
- ・ ニーズに合わせた栄養ケアの役割の充実強化と活動の見える化を図ることが一層求められると思う
- ・ 在宅栄養ケアを担う人材の確保・定着の一助となる重要な事業であると思う。
- ・ CS活動栄養士の質の担保が重要であり取り組みが必要。
- ・ 地域包括ケアに絡めた栄養ケアの有効性のアピール・県民周知が必要。

#### I-2 研修会

- ・ 配信だけではなくグループワーク等も取り入れた、実践に応用できる内容の検討をお願いする
- ・ オンデマンドの教育素材を蓄積しライブラリー化をし活用する（会員増につなげる）
- ・ 実施研修会全体の評価及び今後の方針報告が必要
- ・ 形態一覧表は見直しや更新が必要なので、管理方法の明確な仕様書づくり作成したほうがよい。
- ・ 食形態を見える化したものはとても分かりやすく、他の医療職にとっても利用しやすい形と思う。

#### II 在宅訪問栄養指導推進事業

- ・ 訪問栄養指導に固執せず予防からケアの必要な方まで幅広い県民を対象とした継続性のある栄養ケア体制の構築が必要
- ・ 地域の栄養ケアニーズの明確化を行い、課題の優先順位及び取り組みの実現可能性を踏まえた栄養ケア体制の構築を期待
- ・ 栄養士会活動の方向性が、保険利用から 栄養CS登録活動を目指していくことにしたのは良かった。